Heegaard splitting & curve complex

斉藤敏夫(大阪大学 D 2)

関西低次元トポロジー若手勉強会 2003年3月8日

概要

J. Hempel の論文 '3-manifolds as viewed from the curve complex' の紹介をする。

1 Heegaard splitting

以下を通して、S を closed orientable surface of genus $g \geq 2$ とする。

定義 1 (Compression body). X を S 上の essential loops の disjoint union とする。このとき、

$$S \times [0,1] \bigcup_{X \times \{1\}}$$
 2-handles \bigcup 3-handles

で得られる境界付き 3 次元多様体 V_X を compression body という。ここで、3-handles は全ての 2-sphere 境界成分を埋める、と仮定しておく。

この定義で、 $S \times \{0\}$ 以外に境界がない compression body が、いわゆる handle body となる。

定義 2 (Heegaard splitting). X、Y を S 上の essential loops の disjoint unions とし、 V_X 、 V_Y を対応する compression bodies とする。

$$V_X \bigcup_{S \times \{0\}} V_Y$$

で得られる 3 次元多様体を M_{XY} としたとき、 $(S; V_X, V_Y)$ を M_{XY} の Heegaard splitting という。

以下、全ての3次元多様体は orientable とする。

事実 1. 任意の compact 3-manifold は Heegaard splitting を持つ。

また、M が空でない境界を持つ場合、その成分たちを適当に配分するような Heegaard splitting がいつでも存在する。

定義 3. $(S; V_X, V_Y)$ を M_{XY} の Heegaard splitting とする。

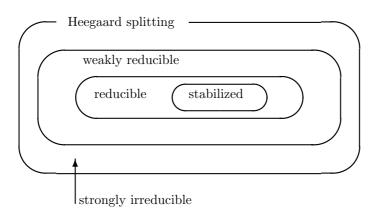
- $(S; V_X, V_Y)$ \not reducible $\Leftrightarrow \exists D_1 \subset V_X, \exists D_2 \subset V_Y \text{ such that } \partial D_1 = \partial D_2.$
- $(S; V_X, V_Y)$ \not weakly reducible $\Leftrightarrow \exists D_1 \subset V_X, \exists D_2 \subset V_Y \text{ such that } \partial D_1 \cap \partial D_2 = \emptyset.$
- $(S; V_X, V_Y)$ \not stabilized $\Leftrightarrow \exists D_1 \subset V_X, \exists D_2 \subset V_Y \text{ such that } |\partial D_1 \cap \partial D_2| = 1.$

reducible でない Heegaard splitting を irreducible といい、weakly reducible でない Heegaard splitting を strongly irreducible という。

事実 2. $(S; V_X, V_Y)$ を M_{XY} の Heegaard splitting とする。

- S の種数が 2 以上のとき、 $(S; V_X, V_Y)$: $stabilized \Rightarrow (S; V_X, V_Y)$: reducible.
- $(S; V_X, V_Y)$: reducible $\Rightarrow M_{XY}$: reducible or $(S; V_X, V_Y)$: stabilized
- $(S; V_X, V_Y)$: weakly reducible $\Rightarrow M_{XY}$: Haken or $(S; V_X, V_Y)$: reducible.

以上をまとめると、



ある意味で、weakly reducible Heegaard splitting はよく分かっている(使いやすい)。そこで、strongly irreducible Heegaard splitting を調べたい。

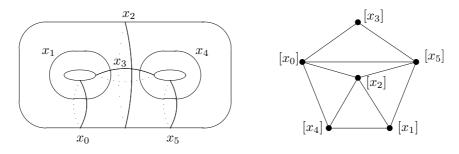
2 Curve complex

定義 4. 次のようにして得られる complex C(S) を curve complex という。

- 0-simplex \Leftrightarrow an isotopy class of an essential loop on S.
- x_0, x_1, \ldots, x_k が k-simplex を張る \Leftrightarrow うまい代表元をとった時、 $x_i \cap x_j = \emptyset$ for $0 \le i \ne j \le k$.

S の種数 g のとき、C(S) の次元は 3g-4 になる。

例 1. 左図のような curves $x_0, x_1, x_2, x_3, x_4, x_5 \subset S$ のイソトピー類は、curve complex C(S) 内で、右図のような subcomplex に対応する。但し、右図の各三角形は2単体を張っている。



定義 5. x、y を C(S) の 0-単体とする。これらの間の距離 d(x,y) を次で定義する。

 $d(x,y) := \min\{\#(0\text{-simplices on the shortest path joining } x \text{ to } y)\}$

事実 3.

- C(S) は locally finite でない。
- C(S) の diameter は無限。
- C(S) は連結。

3 Distance of Heegaard splitting

以下、X、Y を S 上の essential loops の disjoint unions で、(言い換えると、C(S) の単体で)対応する compression bodies V_X 、 V_Y が handle bodies となるものとする。

次のような、C(S) の subcomplex を考える。

$$K_X := \left\{ X' : \begin{array}{ll} S \ oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{\mathcal{S}}}} \ \mathcal{O} \ \mathrm{disjoint \ unions} \end{array} \right| \ (V_{X'}, S) = (V_X, S) \
ight\}$$

同様に、 K_Y も定義する。

事実 4. K_X 、 K_Y は connected、かつ、diameter は無限。

定義 6. $(S; V_X, V_Y)$ を M_{XY} の Heegaard splitting とする。このとき、 $(S; V_X, V_Y)$ の distance を、

$$d(K_X, K_Y) = \min \left\{ d(x, y) \mid x \in K_X, y \in K_Y \right\}$$

と定義する。

注.

- $d(K_x, K_Y) = 0 \Leftrightarrow (S; V_X, V_Y)$: reducible
- $d(K_x, K_Y) \leq 1 \Leftrightarrow (S; V_X, V_Y)$: weakly reducible

4 Results

よく知られているように、closed irreducible 3-manifold は、次のように分類される。

定理 (Hempel [1]). M を closed irreducible 3-manifold とし、 $(S; V_X, V_Y)$ を M の Heegaard splitting とする。M が Seifert か toroidal ならば、 $(S; V_X, V_Y)$ の distance は 2 以下。

系. もし closed irreducible 3-manifold M が、distance ≥ 3 の Heegaard splitting を持てば、M は hyperbolike。

次の事実は、定理の逆は成り立たないことを示している。

事実 5. S^3 内の 2-bridge knot の non-trivial Dehn surgery で得られる hyperbolike 3-manifold の genus two Heegaard splitting の distance は 2。

以下、M が irreducible Seifert fibered space with orientable base space B の場合の証明の概略を述べる。この場合は、[2] により、M の任意の irreducible Heegaard splitting は vertical か horizontal となる。

4.1 Vertical splitting of Seifert fibered space

まず vertical Heegaard splitting を定義する。 $f:M\to B$ を射影とする。 Base space B を次のように $D\cup E\cup F$ に分割する。

● D、E の各連結成分は高々 1 個の singular point を含む closed 2-cell。

- F の各連結成分は singular point を含まない square で、向かい合う 1 組の辺は D に含まれ、もう 1 組は E に含まれる。
- D、E、F の内点同士は交わらない。

この分割に対し、

$$V_1 = f^{-1}(D) \cup F \times \left[0, \frac{1}{2}\right]$$
$$V_2 = f^{-1}(E) \cup F \times \left[\frac{1}{2}, 1\right]$$

とすると、これは M の Heegaard splitting を与えることが分かる。ここで、 $f^{-1}(F)\cong F\times S^1\cong F\times [0,1]/\mathrm{id}$. とみなしている。こうして得られた Heegaard splitting を、M の vertical splitting という。以下、vertical splitting の distance ≤ 2 を示す。

|F の連結成分 $|\geq 2$ の場合。 F_1 、 F_2 を異なる F の成分とする。 F_1 内の E と交わる辺たちをつなぐ properly embedded arc a_1 、 F_2 内の D と交わる辺たちをつなぐ properly embedded arc a_2 をとる。すると、 $f^{-1}(a_1)$ は V_1 の meridian disk、 $f^{-1}(a_2)$ は V_2 の meridian disk を与えることが分かる。これらは互いに交わらないので、Heegaard splitting $V_1 \cup V_2$ は weakly reducible、つまり distance= 0。

|F の連結成分 $| \le 1$ の場合。まず、

- BがS²上 singular points が3点の orbifold,
- D: 2 つの連結成分 D₁ □ D₂ からなる、
- E, F: connected,
- D_1 、 D_2 、F: ちょうど 1 点の singular point を含む closed 2-cell、

の場合を考える。このF内で、E と交わる辺たちをつな ζ properly embedded arc a_1 、D と交わる辺たちをつな ζ properly embedded arc a_2 をとると、やはり、 $f^{-1}(a_1)$ は V_1 の meridian disk、 $f^{-1}(a_2)$ は V_2 の meridian disk を与えることが分かる。ここで、 $D_1\cap F$ の arc 上から、適当に1 点x をとり、loop $f^{-1}(x)$ を考える。するとこれは、曲面上の essential loop であり、 $f^{-1}(a_1)$ 、 $f^{-1}(a_2)$ と交わらない。よって、 $d(\partial f^{-1}(a_1),\partial f^{-1}(a_2))\leq 2$ がわかる。つまり、distance ≤ 2 。

上の仮定が満たされていない場合、M は Lens space になることがわかる (含む S^3 、 $S^2 \times S^1$)。このとき、対応する Heegaard splitting が、 $genus \ge 2$ なら、それは reducible となることが知られており、distance = 0。genus = 1 のときは、distance は定義されていない。

4.2 Horizontal splitting of Seifert fibered space

Horizontal Heegaard splitting を許容する Seifert fibered space は、次のようなMに限る。まず

$$N = F \times [0,1]/(x,0) \sim (\psi(x),1)$$

を用意する。ここで、F: connected orientable surface $\neq B^2$ 、 $|\partial F|=1$ 、かつ、 $\psi:F\to F$ orientation preserving periodic homeo.。

$$M = N \bigcup_{f} \left(B^2 \times S^1 \right)$$

ここで、 $f: \partial(B^2 \times S^1) \to \partial N$ は、次で決まる homeo. :

 ∂F と S^1 方向に 1 回はしる loop で代表される $H_1(\partial N)$ の basis μ 、 λ をとったとき、 $[f(\partial B^2 \times \{*\})] = \lambda + n\mu$ for some n_{\circ}

このMには次のようにして Heegaard splitting が定まる。 l_1 、 l_2 を $f^{-1}(\partial F \times \{0\})$ 、 $f^{-1}(\partial F \times \{1/2\})$ とし、 $B^2 \times S^1$ を $l_1 \cup l_2$ の張る annulus で切り開いて得られる solid tori を U_1 、 U_2 とする。但し、 $F \times (1/2,1) \cap U_1 = \emptyset$ 、 $F \times (0,1/2) \cap U_2 = \emptyset$ 。このとき、

$$V_1 = F \times \left[0, \frac{1}{2}\right] \bigcup U_1$$

$$V_2 = F \times \left\lceil \frac{1}{2}, 1 \right\rceil \bigcup U_2$$

は、それぞれ handle body となることがわかる。こうして得られた Heegaard splitting を、M の horizontal splitting という。以下、horizontal splitting の distance ≤ 2 を示す。

A を、F 上の essential 1-manifold で F-A: 2-cell を満たすものとし、その 1 つの成分 γ をとる。すると、

$$\gamma \times [0,1] \cap F \times \left[0,\frac{1}{2}\right] \ , \ \gamma \times [0,1] \cap F \times \left[\frac{1}{2},1\right]$$

を拡張して、 V_1 、 V_2 の meridian disks が得られることが分かる。これら同士は一般に交わるが、 γ が F を分離しないことに注意すると、どちらとも交わらない $F \times \{1/2\}$ 上の essential loop が見つかる。つまり、得られた Heegaard splitting $V_1 \cup V_2$ の distance ≤ 2 がわかる。

参考文献

[1] J. Hempel. 3-manifolds as viewed from the curve complex. Topology 40 (2001), no. 3, 631–657.

[2] Y. Moriah and J. Schultens. Irreducible Heegaard splittings of Seifert fibered spaces are either vertical or horizontal. Topology 37 (1998), no. 5, 1089–1112.